

(様式第9号)

情報公開用文書

「腹壁開放管理(OAM)中の集学的治療に関する後方視研究」へのご協力をお願い

- 1, 研究（調査）の目的と概略
OAM症例のデータを収集・登録し、研究することにより、開腹手術後の集学的治療の質と安全性を一層向上させるための有益な知見を得る。
- 2, 研究（調査）の方法
開腹手術後に腹壁開放管理となり集中治療室に入室された患者様に関して、年齢、性別、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化された後、日本集中治療医学会へ情報提供されます。
- 3, 研究（調査）の参加施設
徳島県立中央病院
- 4, 調査期間
調査期間 令和1年4月1日から令和6年6月30日まで
- 5, 調査の対象となる患者様
本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、開腹手術後に腹壁開放管理となり集中治療室に入室された患者様です。
- 6, この研究への協力は任意です
本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。
データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。
- 7, お問い合わせ先
当院研究責任者 麻酔科 池崎尚子
お問い合わせ先 088-631-7151(代表)